

【ヨハネの黙示録第21章】

「新しい世界」

それから私は、新しい地と新しい空を見ました。(そこには海はありません。)今までの地も空も消え去ってしまいました。私ヨハネは神様のもとを出て、天から下ってくる聖なる都、新しいエルサレムに目を奪われました。その眺めの素晴らしさは、まるで結婚式に美しく着飾った花嫁の様でした。王座から大声で叫ぶ声が聞こえました。「ごらんなさい。神様の住まいが人々の間にあります。神様は人々と共に住み、人々は神様の国民となります。神様自ら人々の中に住み、その目から涙を拭いて下さるのです。最早、死も悲しみも叫びも苦痛もありません。それらはみな永遠に姿を消したからです。」

王座におられる方が宣言されました。「ごらんなさい。私はすべてを新しくします。」そして続いてこう言われました。「これらの事を書き留めなさい。」私が伝えることは真実で信頼できるからです。一切のわざが成し遂げられました。私は始めであり終わりです。のどの渇いている者にはいのちの水の泉を上げましょう。勝利を得る人は誰でも、すべての祝福を相続できるのです。私はその人の神となり、その人は私の子となります。しかし、私に従うのを止めるような臆病者、不忠実な者、墮落した者、人殺し、不道德な者、魔術を行う者、偶像礼拝者、嘘をつく者、この様な人々の行きつく先は、火と硫黄が燃えさかる池です。これが第2の死なのです。

「栄光の都」

幻の中で、天使は私を高い山の頂上に連れてゆきました。そこで私は素晴らしい都、きよいエルサレムが、神様の元を出て、天から下って来るのを見ました。都は神様の栄光に包まれ、宝石のように光り輝いていました。栄光の都は立方体を成しています。それぞれの長さは2400Kmでした。都そのものは、ガラスのように透き通る純金でできていました。城壁は様々の宝石が散りばめてある、12の土台石の上に築かれてありました。12の門はそれぞれ一つの大きな真珠でできていました。大通りは、ガラスのように透き通る純金でした。

都にはどこにも神殿が見当たらないのです。というのも、全能の神である主と、小羊イエスを都のどこでも自由に礼拝できるからです。都には太陽も月も要りません。神様と小羊イエスとの栄光が、明るく照らしていたからです。その光は全世界に及ぶのです。世界中の支配者たちが、それぞれの栄光(シャカイナグローリー)を携えてやってきます。

都の門は決して閉じられず、一日中開かれたままです。ここには夜はないからです。あらゆる国と栄光と誉が、都に運ばれてきます。汚れた者は入れてもらえません。不道德な者、不正直な者は一人たりとも入れません。小羊イエスの命の書に名前の記されている人々だけがここに入れるのです。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会
Church of the **Firstborn** who are **Registered** in **Heaven**
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.5.18 No.789

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。
もう一度言います。喜びなさい。
ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



イスラエルの婚宴

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

